

令和7年度の埼玉県立大学入学者選抜【一般選抜（前期日程）】の 利用教科・科目等の旧教育課程履修者への経過措置について（予告）【第2報】

令和6年3月25日公表
埼玉県立大学

令和7年度の埼玉県立大学入学者選抜【一般選抜（前期日程）】では、平成21年3月に告示された高等学校学習指導要領に基づく教育課程（以下「旧教育課程」という。）を履修した入学志願者（以下「旧教育課程履修者」という。）への大学入学共通テスト利用教科・科目・配点等における経過措置については、令和5年3月29日に公表済みですが、この度、大学入試センター入試セ事一第211号「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学テストの利用教科・科目の記載方法について」の通知を受け、科目名等について一部修正します。

また、本学は2025年4月より「健康開発学科健康行動科学専攻」を「健康開発学科健康情報学専攻」と名称を変更しますので、修正を行いました。

なお、新教育課程履修者（令和4年3月に告示された高等学校学習指導要領に基づく教育課程を履修した入学志願者）は、旧教育課程から出題される科目を採用することはできません。

記

【一般選抜（前期日程）】大学入学共通テストの利用教科・科目・配点等 (1) 看護学科〈5教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理, 旧政治・経済』	から1(注2)
情報	『旧情報』	
理科 (注1)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』※ ³ 『物理』『化学』『生物』『地学』	から1
数学	『旧数学I・旧数学A』『旧数学II・旧数学B』	から1(注2)
外国語※ ²	『英語』（リスニングを含む）	必須

(注1) 第2解答科目は合否判定に採用しない。

(注2) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。

● 配点

学科(専攻)	国語※ ¹	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語※ ²	合計
看護学科	100	100 ※いずれか1科目		100	100	100	500

(2) 理学療法学科〈4教科5科目又は5教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語 ^{※1}	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『旧世界史B』 『旧日本史B』 『旧地理B』 『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理, 旧政治・経済』	から2 (注3)
情報	『旧情報』	
理科 (注2)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 ^{※3} 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	
数学	『旧数学I・旧数学A』 『旧数学II・旧数学B』	から1 (注4)
外国語 ^{※2}	『英語』 (リスニングを含む)	必須

(注1) 第2解答科目は合否判定に採用しない。

(注2) 第1解答科目は必ず合否判定に採用する。また、『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』の「基礎を付した科目」と『物理』 『化学』 『生物』 『地学』の「基礎を付さない科目」について、同一名称を含む組み合わせの採用を可能とする。

(注3) 指定する科目よりも多く受験した場合は、「理科」の1科目(第1解答科目)は必須とした上で、得点の高いもう1科目を合否判定に採用する。なお、「理科」の第2解答科目は合否判定に採用しない。ただし、「理科」を2科目受験し、2科目ともに「地理歴史・公民」及び「情報」の科目よりも高得点だった場合にのみ、「理科」の第1解答科目及び第2解答科目を同時に合否判定に採用する。

(注4) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に採用する。

● 配点

学科(専攻)	国語 ^{※1}	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語 ^{※2}	合計
理学療法学科	100	100 ※いずれか1科目		※理科1科目 採用の場合 100	100	100	500
		0 ※採用しない		※理科2科目 採用の場合 200			

(3) 作業療法学科〈4教科5科目又は5教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『旧世界史B』 『旧日本史B』 『旧地理B』 『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理, 旧政治・経済』	から2 (注3)
情報	『旧情報』	
理科 (注2)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』※ ³ 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	
数学	『旧数学I・旧数学A』 『旧数学II・旧数学B』	から1 (注4)
外国語※ ²	『英語』 (リスニングを含む)	必須

(注1) 「旧世界史B」と「旧日本史B」の2科目を受験した場合には、第1解答科目のみを採用する。

(注2) 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』の「基礎を付した科目」と『物理』『化学』『生物』『地学』の「基礎を付さない科目」について、同一名称を含む組み合わせの採用を可能とする。

(注3) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い2科目を合否判定に採用する。なお、「地理歴史・公民」と「理科」の第2解答科目は合否判定に採用しない。ただし、「地理歴史・公民」、「理科」の教科において、それぞれ2科目受験し、同教科の2科目ともに3つの教科（「地理歴史・公民」、「情報」及び「理科」）の中で他の教科よりも高得点だった場合にのみ、第1解答科目及び第2解答科目を同時に合否判定に採用する。

(注4) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に採用する。

● 配点

学科(専攻)	国語※ ¹	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語※ ²	合計
作業療法学科	100	200 ※いずれか2科目			100	100	500

(4) 社会福祉子ども学科(社会福祉学専攻・福祉子ども学専攻)〈5教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『旧世界史B』 『旧日本史B』 『旧地理B』 『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理, 旧政治・経済』	から1
情報	『旧情報』	から1 (注2)
理科 (注1)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』※ ³ 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	
数学	『旧数学I・旧数学A』 『旧数学II・旧数学B』	から1 (注2)
外国語※ ²	『英語』 (リスニングを含む)	必須

(注1) 第2解答科目は合否判定に採用しない。

(注2) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。

● 配点

学科(専攻)	国語※ ¹	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語※ ²	合計
社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 福祉子ども学専攻	100	100	100 ※いずれか1科目		100	100	500

(5) 健康開発学科 健康情報学専攻〈5教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『旧世界史B』 『旧日本史B』 『旧地理B』 『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理, 旧政治・経済』	から2 (注2)
情報	『旧情報』	
理科 (注1)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』※ ³ 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	
数学	『旧数学I・旧数学A』 『旧数学II・旧数学B』	から1 (注3)
外国語※ ²	『英語』 (リスニングを含む)	必須

(注1) 第2解答科目は合否判定に採用しない。

(注2) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。ただし、同じ教科からは、1科目(第1解答科目)のみを合否判定に採用する。

(注3) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。

● 配点

学科(専攻)	国語※ ¹	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語※ ²	合計
健康開発学科 健康行動科学専攻	100	200 ※いずれか2科目。 ただし、同一教科からは1科目のみ採用			100	100	500

(6) 健康開発学科 検査技術科学専攻〈4教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
理科	『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	から2
情報	『旧情報』	から1 (注1)
数学	『旧数学I・旧数学A』 『旧数学II・旧数学B』	
外国語※ ²	『英語』 (リスニングを含む)	必須

(注1) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。

● 配点

学科(専攻)	国語※ ¹	地理歴史・公民	数学	情報	理科	外国語※ ²	合計
健康開発学科 検査技術科学専攻	100	/	100 ※いずれか1科目		200	100	500

(7) 健康開発学科 口腔保健科学専攻〈4教科5科目又は5教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『旧世界史B』 『旧日本史B』 『旧地理B』 『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理, 旧政治・経済』	から2 (注3)
情報	『旧情報』	
理科 (注2)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』※ ³ 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	
数学	『旧数学I・旧数学A』 『旧数学II・旧数学B』	から1 (注4)
外国語※ ²	『英語』 (リスニングを含む)	必須

(注1) 「旧世界史B」と「旧日本史B」の2科目を受験した場合には、第1解答科目のみを採用する。

(注2) 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』の「基礎を付した科目」と『物理』『化学』『生物』『地学』の「基礎を付さない科目」について、同一名称を含む組み合わせの採用を可能とする。

(注3) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い2科目を合否判定に採用する。なお、「地理歴史・公民」と「理科」の第2解答科目は合否判定に採用しない。ただし、「地理歴史・公民」、「理科」の教科において、それぞれ2科目受験し、同教科の2科目ともに3つの教科（「地理歴史・公民」、「情報」及び「理科」）の中で他の教科よりも高得点だった場合にのみ、第1解答科目及び第2解答科目を同時に合否判定に採用する。

(注4) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に採用する。

● **配点**

学科(専攻)	国語※ ¹	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語※ ²	合計
健康開発学科 口腔保健科学専攻	100	200 ※いずれか2科目			100	100	500

大学入学共通テストの配点等注意点【全学科・専攻共通】

※1 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語(英語)は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計(200点満点)をリーディング(150点)とリスニング(50点)の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング(100点)を外国語(英語)の得点とする。

※3 理科のうち『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

(2) 個別学力検査等の内容及び配点【全学科・専攻共通】

(ア) 小論文 100点

(イ) 面接 本学で学修するための水準を満たしているか否か確認します。

以上